

製作の指導

東京女高師幼稚園 吉田こみ子

毎日の保育をふり返つてみますと、そこにはわからない事が澤山に御座います。その中より今日は「製作」について、私のありのままの姿を申し上げ反省してみたいと思ひます。特に新しい事、珍しい事ではなく、どなたもしていらつしやる事ですし、尊い経験を積んでいらつしやる先生方が澤山いらつしやる事と存じますので、充分なお教を頂き度いと切望いたしております。

一、個々製作と目的製作

製作も又、子供の興味によつて楽しく作られなければなりませんので、こちらから申しませんでも自然その方々興味が出き手を出したくなる様に仕向けるのが私達の仕事だと思ひます。それには切り離れた一つ一つの製作では、どうしても互に何の關聯もなく、たゞ上手につくるとか上手に塗るとかいう事に重點がいつてしまひ面白くないので、何か一つの題目を選んでその目的の爲に、自發的にあれも作る、之も作り度いという氣持にさせ度いと思ひます。それには、やはり目

的製作を取り上げたいと思ひます。

目的製作にした場合と個々製作の時と、どんな違いがあるかという點を考へてみますと、大きい興味を持つ様になるので製作が楽しくなること。

目的から出發して課程に束縛されないこと

創作性が導き出されること

手元の小さい仕事だけでなくと大きな背景を持つこと

社會觀察が生かされること

考へられると思ひます。

二、題材の選び方

次に題材を選ぶ時で御座いますが、學期のはじめに子供達と相談いたします。年長組でございまして、汽車ごっこがしたいとか、動物園がしたいとか、お店ごっこがしたいとかお店にしてもお菓子屋、おもちゃ屋等、それ／＼生活の環境から興味あるものを色々申しますので、子供の希望を澤山に入れて、やり度い氣持の盛り上つたものをしておきます。年

少組ですと、入園した當時は少し無理だと思ひますが、二學期頃から、そろ／＼こちらの計畫で引張つてゆく事が出来ると思ひます。

この計畫も年中行事や季節、或は地方等によつてそれ／＼違ふと思ひますが、こうやつて何か一つの目標が決まりますと、子供達はその目的に向つて實に喜々として楽しんでおります。私の組は今學期「おもちゃやさん」をしたいと申しましたので、玩具屋を選んだので御座いますが、幼稚園の行き歸りにも、實によく様子を觀て來ます。賣り出しをする頃になりますと、小さい自動車はいくらだつたけれど、大きいのは、いくらだつたという様に報告してくれます。仲町にも二軒お店がございますので、代る代る連れていつてよく見せます。そうしますと、あれも賣つていた、之もつくり度いと自然につくるものが次々に出て來ます。それをボールド等に書いておきまして、出來たものからマル印をつけたりしてゆきますと、子供の頭にも、すつかり一つの目標や計畫が、はつきり這入つて來る様に思ひます。

そこで、いつでも興味の起つた時に、すぐそれが作れます様に、三つか四つ位の種類のものを方々の机に分散しておき、やり度い時に、やり度いものをその机の所へ行つて出来る様にしておきます。同じ目標を持つても、一齊に今日は電車を作る、明日は風車を作るという様に一つの材料では、それに興味のない子供もありませんから、意味がないのではないかと思ひます。

三、製作に對しての子供の態度

こうしておいて、さて子供はどんな風に動くかという事をよく觀ておきますと、方々の机の上に置いてある物によつてすぐ自發的に動く子供。物の環境だけでは自分から這入つてゆかれなくても、お友達とか先生とか、人の環境で自然に這入つてゆける子供。やり度いにはやり度いが、氣が弱いとか新しい事に對して臆病とかで、なか／＼手が出ない子供。はじめから這入らうとしない子供等色々あります。

製作している態度にしても、最後まで眞剣になつてする子供、途中で飽きてだら／＼としている子供、すぐ氣が散つてやりかけのまま、他の遊びに移る子供、自信がなく依頼心の強い子供。創作的な子供。他人のまねばかりしている子供等あります。

これらの子供達を一體どうして指導したらよいのでしようか。

四、先生の態度

自ら進んで手を出さない子供に、無理にやりなさいと申しますと、かえつて嫌になつたり、云われたから仕方ないからするというのは、本質をこわしてしまいます。黙つて材料を揃えて置きますと、誰かど始める、そうすると段々に仲間入りをして、お友達が楽しそうにしているのを見ると自然にやり度くなる事がよく御座います。年少組などで自發的に

這入る子供が無い時等は、先生が如何にも楽しそうにやり始めますと自然に子供もひき入れられると思ひます。這入つて來そうでなか／＼手を出さないで、ふら／＼みんなのしているのを見ている子供がよくありますが、こちらが遠あせり賑味になつて「○○ちゃん、これ、作らない？」等とうつかり云つてしまつた爲に、かえつて他所へ行つてしまつたりしてみす／＼失敗をした事もよくございました。いつもよくやる子供でしたら、その日は一日砂場にいても、積木に熱中していても無理に誘わない事にしています。又午前中はしなくても午後からやり出す子供もありますから、長い目で見ていてやる事が大切だと思ひました。

一體に子供は新しい事や珍らしい事に對しては好奇心を持つて、普斷はあまりしない子供でもやり度がる様に思ひますが、前に申しました氣の弱い子供は、一度經驗したものは喜んでするけれど、新しい事に對してはなか／＼手を出さない。やり度の氣持はあるけれど、何となく不安の氣がするらしいのです。この様な時は私もその子供の傍でやりはじめ「○○ちゃん、先生のお手傳して頂戴」という様に容易い所を塗つてもらつたり、作つてもらつたりして一緒に仕上げますと、自分にも出來ると思ふのか、今度は一人で手を出す事がよくあります。つまり糸口を引出して自信をつけてやる役を私達が受けてばよいのではないのでしょうか。

初めから這入らうとしない子供は、そこに何か原因が無いかという事をよく考えてみます。缺がよく使えないとか、上

手に出來ない、模様が蓋けないとか、左ぎつちよで笑われるとか、或は、後から入圍したり、缺席がちであつたり、朝遅く來た爲に不快であつたり、何となく自己に劣等感を感じている様な場合、その他の子／＼によつて色々原因がきつとあると思ひますので、早くそれを見つけて出して、知らず／＼の中に取除いてやらなければならぬと思ひます。

製作は何かを作る事なので、つい出來上りにはかり氣がとられてしまふ事は、よく／＼心していても時々はつとする事があります。特に氣の弱い子供や、今まであまり手を出さなかつたのにこの頃やる様になつたという様な場合等、もう少し塗つてごらんなさい等と色々申しますと、次には何だか面倒になつてやらなくなつてしまふ事も御座います。年少組等で入圍した當時等は、説明でもしてもらわないとわからない物ばかりですが、本人は立派にしているつもりですから、こちらの期待が大きいと楽しく作る自由を束縛してしまひ、後になつて伸びない様に思ひます。

飽き易い子供はどうしたら良いのでしょうか。興味を失いかけた時に程よい手傳役になつて勵ましてやるのも良いのではないかと思ひますが、體力的に續けられない子供もありませんから一様には申されませんので、その子の健康状態に應じ簡單に早く出來る物からさせる様にするのも良と思ひます。

依頼心の強い子供は、すぐこんなになつちやつたとか、こんなに切れたとか言つてやつてもらおうと思つて持つて來ますので、他の子供より少し丁寧に相手になつて勵ましてやら

りますと、一人で仕上げた事に喜びを味うと思えます。けれども、こちらでも忙しかつたりして充分に相手になつてやれない時、途中で止めてしまつたり、つまらなくなつたり致しますので氣を付けたいと思つております。

氣の散る子供には、出来るだけ、他の刺戟が目に移らない様に、氣が散りかけた様だつたら傍に行つて作つてゐるものに關心を持たせる様話しかけたりしております。

それ／＼のグループで、やり度の製作をしておりますと、子供作らお互に教え合つたりしています。之は本當によい事だと思えます。はじめから作り方等いち／＼申しますと、「これはどうするのそれからどうするの？」といち／＼頼つて聞く様になりますので、なるべく工夫したり考えさせる様にしております。子供が苦心してどうしても困つた時に、はじめでこちらで教えてやりますと、子供作らあ／＼そうかとうなすきます。結果は同じ教えるのであつても、初めからやり方を教えるのと大分違ふと思つて御座います。

又お仕事も、はじめたら最後までやり上げなくてはならないというので無理がゆきますから、そこに子さんの體力なり仕事の量なりを考へて適宜にしてあります。

製作に夢中になると、とかく後仕末が忘れられ、クレヨンでも鉛でも、出しつばなしになつてゐる事がよくありますので、よき習慣をつけさせる爲、生活の指導として忘れてならないと思ひます。

尙、目的製作をしていて、氣をつけなくてはと、いつも思

いますのは、獨創力のある子供、或は綺麗にする子供に、他の子供より多くの仕事を與える結果になり易い事だと思ひます。これには毎日個人的の日記をつけておきますと參考になると思ひます。

五、材料の選擇

こうして子供に考えさせる事になりますと、自然に材料の選擇が大切になつて來ます。出来るだけ作り方の易いものも考えたり選んだりしなければならなくなります。塗らせる物もクレヨンばかりでなく、繪具、墨、鉛筆、色鉛筆等を出してやりますと、喜んでいたします。それに立體的のものや作つた後で動くもの遊べるものを特に喜ぶ様に思ひます。

紙等もあまり硬いものや、薄過ぎる物ですとやりにくく、折角の興味も途中でなくなつてしましますから、作る物によつて材料を選びませんと失敗する事があります。

子供は材料も相當無駄にしますし、この頃の様に不足がちだつたり高かつたりする時は、はらはらする事も御座います。が、なるべく古葉書、古便箋、又廣告や古い印刷物の裏等を利用して豊當に整えてやり度いと思ひます。

製作というと紙細工の事を考えられがちではないかと思ひますが、粘土や紙粘土も數多くしたいと思ひます。粘土は、いつも手を出さない様な子供でも喜んでしますので、立體的に表現し創作する楽しみに這入り易いと思ひます。紙粘土は粘土より少しつくりにくいのですが、輕い上に、【一四頁へ】

中から保育者が發見し、幼児達の自由意思と幼児の興味によつて自由な活動が行はれるという所に、教育的價値があるのでありまして、同じ曲を聞いても、其の時々に新しい工夫がなされ、新しい表現がなされることが望ましさ、その點では振付遊戯や律動遊戯の持たない教育的要素が含まれていると言ふことが出来ましよう。

大人がリズムを勉強する場合には、理論的に表現法を考へるために、非常に難しく、又その表現の仕方がどうしても象的にならぬのであります。幼児にさせるリズム遊びは決して理論を教へたり、表現法を教へたりせず、幼児が直接に事物を觀察してその感じを表現する様に指導しなければなりません。幼児のリズム遊びはあく迄舞踊家を作るのを目的とするものでなく、勿論將來舞踊家になるものが居れば、その藝術的才能を伸してやることは結構ですが、一般の幼児の爲には聽覺を發達させ、音楽により感受したものをも身體を以つて表現する運動神經の發達と、美的表現の才能を伸ばすことに重點を置き、リズム遊びが幼児一同の楽しい自發活動によつて行はれることこそ、リズム遊びの本來の姿であると思はれます。

願わくば皆様の熱意ある御研究により保育所、幼稚園に於けるリズム遊びが科學的に、心理學的により深く研究され理想的な形にと向上して行き、幼児達を通して次代の日本文化に役立ちますように念願して筆を擱きます。

〔二八頁から〕

かゝこれれず、色を塗つておまゝごとの道具等の様に實際生活に活用出来ますので面白いと思ひます。

木工は、金鋸、鋸、錐等の様なものを揃えておき、人形のお道具にしる、汽車遊びの汽車にしる、大きい物をさせ度いのですが、今はまだそれだけの材木も自由にする事が出来ませんので、お店をつくる時の骨組だの、甲板などを古い板や箱を利用してする程度にしておりますが、もつとくやり度いと思つております。又、保育室に私達の手で作れる程度の必要な物があれば、一生懸命つくつてやり、先生のつくつてゐるのを見てゐるだけでも、よいのではないかと思ひます。

とにかく先生が楽しそうに熱心に作つてゐる程度を、子供達が見るといふ事は非常に大切な事だと思ひます。

その他、その季節々々の自然物落葉、木の實、豆のさや等なるべく利用して又變つた面白味を得させ度いと思つております。

わからぬまゝに、ありのまゝ申上げました。よろしく御指導下さいませ。

X

X